

「緊急発進最多」に中国側反発

4月18日 22時49分



防衛省が、昨年度1年間に航空自衛隊の戦闘機が外国機に対して行ったスクランブル＝緊急発進で、国別では中国機が初めて最も多かったと発表したことについて、中国外務省は、「日本がやるべきことは、多くの航空機を発進させることではない」と述べ、反発しました。

防衛省は17日、昨年度1年間に航空自衛隊の戦闘機が行った緊急発進の回数を発表し、中国機に対する緊急発進が306回と、初めてロシア機を上回り、最も多かったことを明らかにしました。

これについて、中国外務省の華春瑩報道官は、18日の記者会見で、「日本側は絶えず挑発行動をとっていて、これが島を巡る情勢を緊張させ続けている根本的な原因だ」と述べて、日本側の緊急発進を非難しました。

そのうえで、「日本が今やらなければならないのは、多くの航空機を発進させるのではなく、より多くの誠意と実際の行動によって、中国と共に努力し、対話を通して問題を解決する方法を探していくことだ」と述べ、緊張を高めているのは日本側だとする、これまでの主張を繰り返しました。